

Ⅶ. 緩和ケアに関する教育

2. 医師に対する緩和ケア教育—PEACE プロジェクト

山本 亮

(佐久総合病院 総合診療科)

医師に対する緩和ケア教育

これまでわが国においては、医師に対する系統的な緩和ケア教育は行われてこなかった。

日本緩和医療学会では、2005年より、医師に対する緩和ケア教育を行うため、ノースウエスタン大学、米国臨床腫瘍学会が共同で実施しているEPEC-O (Education for Palliative and End-of-life Care- Oncology) の日本語版を開発し、指導者研修会の開催を開始した。

2007年4月に施行されたがん対策基本法において、がん医療の早期から緩和ケアが適切に導入されることの重要性が述べられ、これに基づくがん対策推進基本計画において、「すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得する」ことが目標として掲げられた。この目標を達成するために、EPEC-Oプログラムの手法と経験を用いて、新たに「症状の評価とマネジメントを中心とした緩和ケアの継続医学教育プログラム (Palliative care Emphasis program on symptom management and Assessment for Continuous medical Education: PEACE)」が開発された。

日本緩和医療学会は厚生労働省の委託を受けて、PEACEプログラムを用いた研修会である「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」指導者育成のための「緩和ケアおよび精神腫瘍学の基本教育に関する指導者研修会」の開催を2008

年より開始した。緩和ケア研修会の開催が、がん診療連携拠点病院の指定要件となっていることもあり、ここで育成された指導者が中心となり、全国各地で緩和ケア研修会を開催し、がん診療に携わる多くの医師が研修会を受講している。

指導者研修会修了者数

2008年から開催された指導者研修会の修了者数を表1に、全国各地で開催された緩和ケア研修会の開催数と修了者数を都道府県別に集計したものを表2に示す。

緩和ケアの指導者研修会受講者は各都道府県とも充足してきているが、精神腫瘍学の指導者に関しては人数にばらつきが多く、精神腫瘍学指導者の育成が今後の課題である。

緩和ケア研修会修了者数

緩和ケア研修会を修了した医師は25,000名を超えている。「すべてのがん診療に携わる医師」が受講するという目標には達していないものの、がん診療に携わる医師が系統的な緩和ケア教育を受ける機会となっている。研修会修了者は増加しているものの、緩和ケアの質が向上しているかどうかは明らかでなく、研修会受講による緩和ケア教育の効果について検証を行っていくことが今後の課題である。

表1 都道府県別 PEACE 指導者研修会修了者数一覧

(対象：第1回～第15回指導者研修会，平成20年度～平成23年度都道府県指導者研修会) (平成23年9月末時点)

a. 緩和ケア

緩和ケアの基本教育に関する指導者研修会／ 緩和ケアの基本教育のための都道府県指導者研修会					
都道府県	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	修了者 合計
北海道	10	24	24	5	63
北海道	10	24	24	5	63
青森県	5	3	4	4	16
岩手県	4	5	5	4	18
宮城県	7	3	3	0	13
秋田県	5	5	5	2	17
山形県	7	2	6	2	17
福島県	5	8	8	2	23
東北地方	33	26	31	14	104
茨城県	4	8	8	3	23
栃木県	6	4	7	1	18
群馬県	9	8	2	2	21
埼玉県	10	8	11	2	31
千葉県	10	11	10	5	36
東京都	28	32	42	26	128
神奈川県	13	14	17	4	48
関東地方	80	85	97	43	305
新潟県	7	7	11	2	27
富山県	7	6	5	3	21
石川県	4	4	1	3	12
福井県	4	3	6	1	14
山梨県	4	1	2	0	7
長野県	6	3	6	3	18
岐阜県	8	3	4	3	18
静岡県	11	6	10	5	32
愛知県	16	25	27	12	80
中部地方	67	58	72	32	229
三重県	5	3	2	4	14
滋賀県	5	3	7	5	20
京都府	12	7	13	11	43
大阪府	26	27	38	8	99
兵庫県	10	13	17	9	49
奈良県	5	2	2	5	14
和歌山県	4	1	2	1	8
近畿地方	67	56	81	43	247
鳥取県	4	8	3	1	16
島根県	5	2	2	1	10
岡山県	7	12	7	2	28
広島県	6	14	8	5	33
山口県	3	6	2	2	13
中国地方	25	42	22	11	100
徳島県	3	4	3	1	11
香川県	4	2	1	1	8
愛媛県	9	4	8	1	22
高知県	4	2	3	2	11
四国地方	20	12	15	5	52
福岡県	14	15	17	14	60
佐賀県	3	2	4	0	9
長崎県	10	3	1	5	19
熊本県	3	6	17	5	31
大分県	3	6	7	1	17
宮崎県	5	2	9	1	17
鹿児島県	4	8	8	4	24
沖縄県	6	2	8	5	21
九州地方	48	44	71	35	198
総数	350	347	413	188	1,298

b. 精神腫瘍学

精神腫瘍学の基本教育に関する指導者研修会／ 精神腫瘍学の基本教育のための都道府県指導者研修会					
都道府県	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	修了者 合計
北海道	6	5	7	2	20
北海道	6	5	7	2	20
青森県	2	1	1	2	6
岩手県	5	1	2	0	8
宮城県	4	0	2	0	6
秋田県	4	3	2	2	11
山形県	0	2	2	0	4
福島県	2	1	1	0	4
東北地方	17	8	10	4	39
茨城県	3	3	3	0	9
栃木県	5	0	3	1	9
群馬県	6	3	0	0	9
埼玉県	3	2	1	1	7
千葉県	10	6	8	3	27
東京都	15	11	16	14	56
神奈川県	10	7	7	8	32
関東地方	52	32	38	27	149
新潟県	1	2	5	0	8
富山県	6	1	4	2	13
石川県	4	0	0	0	4
福井県	2	2	4	0	8
山梨県	1	0	0	1	2
長野県	4	4	6	1	15
岐阜県	2	3	3	0	8
静岡県	6	2	1	2	11
愛知県	6	9	10	2	27
中部地方	32	23	33	8	96
三重県	2	1	2	1	6
滋賀県	2	3	2	0	7
京都府	5	1	4	0	10
大阪府	14	19	10	5	48
兵庫県	7	1	7	0	15
奈良県	3	0	0	0	3
和歌山県	4	0	0	0	4
近畿地方	37	25	25	6	93
鳥取県	3	1	1	0	5
島根県	3	1	2	1	7
岡山県	3	4	5	0	12
広島県	5	3	2	2	12
山口県	0	7	0	1	8
中国地方	14	16	10	4	44
徳島県	1	2	2	0	5
香川県	1	1	0	0	2
愛媛県	3	1	0	3	7
高知県	1	1	0	0	2
四国地方	6	5	2	3	16
福岡県	11	5	10	3	29
佐賀県	3	0	1	1	5
長崎県	4	4	5	1	14
熊本県	3	2	4	1	10
大分県	2	2	1	0	5
宮崎県	1	2	1	1	5
鹿児島県	2	3	4	0	9
沖縄県	3	2	4	1	10
九州地方	29	20	30	8	87
総数	193	134	155	62	544

表2 緩和ケア研修会開催数と研修修了者数（平成23年8月末時点）

都道府県	研修会開催数	研修修了者数	都道府県	研修会開催数	研修修了者数
北海道	65	1,263	三重県	21	471
北海道	65	1,263	滋賀県	22	370
青森県	18	218	京都府	32	758
岩手県	23	452	大阪府	82	1,597
宮城県	18	322	兵庫県	45	997
秋田県	28	364	奈良県	15	319
山形県	18	385	和歌山県	21	461
福島県	22	348	近畿地方	238	4,973
東北地方	127	2,089	鳥取県	13	130
茨城県	32	458	島根県	17	355
栃木県	21	468	岡山県	24	650
群馬県	31	535	広島県	43	852
埼玉県	36	660	山口県	26	367
千葉県	44	721	中国地方	123	2,354
東京都	108	2,524	徳島県	14	223
神奈川県	44	724	香川県	15	335
関東地方	316	6,090	愛媛県	22	489
新潟県	27	295	高知県	12	226
富山県	30	433	四国地方	63	1,273
石川県	15	368	福岡県	56	1,216
福井県	17	331	佐賀県	14	232
山梨県	13	272	長崎県	22	443
長野県	21	548	熊本県	27	404
岐阜県	21	550	大分県	24	480
静岡県	26	458	宮崎県	17	270
愛知県	61	1,321	鹿児島県	23	445
中部地方	231	4,576	沖縄県	14	357
			九州地方	197	3,847
			合計	1,360	26,465